

三体の月の祭り

檜原の秋葉神社は九月に三体の月の祭りを主催します。言い伝えによると、太陰暦の七番目の月（現在の太陽暦の九月）の二十六日目の深夜に昇る月は、三つ分かれて見えるのだそうです。この現象は、「モックムーン（幻月）」として知られ、月光の大気屈折によって引き起こされます。

古代には、この現象は阿弥陀三尊（阿弥陀如来、両脇に脇侍として観音および勢至菩薩）になぞらえられ、神聖なものと考えられていました。特定の条件下でしか出現せず、見たことがあると主張する人はわずかで、しかも何年も前の話です。この日、三つの月を目撃しようと、地元の人たちは飲食をしながら秋葉神社に集まります。この祭りは、元々はこの地域特有のものではありませんでしたが、今では檜原でしか見られません。